

広報

ひの

10

2004
NO.609

秋空までとどけ

休憩時間にブランコを楽しむ黒坂小学校の児童たち



職人

消えゆく

コア職人 中村庸一さん (三谷)

コア。粉（ソギ）とも呼ばれる

屋根瓦の下に敷き、家内の湿気を吸い

屋根を守る薄い木の板

木材は檜ひのきや栗などが使われ

その厚さは6厘5毛

約1・97ミリという薄さ

最盛期は泊り込みで作っても

追いつかないほどの注文もあった

ひと昔までは多くの家に使われていたが

今ではコアを使う人はほとんどいない

数多くいたコア職人は姿を消し

県内では一人になった中村庸一さん (三谷)

その中村さんも

時代の流れ、しかたがない。と言う

昔からの技法を守り続ける職人魂

時代とともに消えゆく職人たち。

コア職人を紹介します。

コアを作り続けて32年
県内で一人になった職人

日野町高尾にある作業小屋では、裸電球の明かりの下で黙々とコアを作り続ける職人、中村庸一さん（77歳）、皓子さん（74歳）夫婦（三谷）の姿があります。

コアは、屋根瓦の下に敷く薄い木の板。関西では「粉」とも呼ばれ、家内の湿気を吸収しながら屋根を守ります。コアを敷くと「屋根は100年持つ」と言われ、旧家によく使われています。

材料には、檜や栗を使い、厚さは何と6厘5毛。約1・97ミリという薄さは、庸一さんがたどり着いた答えで、これ以上薄くても厚くてもよくないといえます。長さ約30センチ、幅15センチ、11センチと使う場所により違ってきます。60枚で1把、4把で1束。4束で屋根1坪分を敷くことができます。

庸一さんが作るコアは、均一な厚さでていねいな作り。こだわりの職人魂が評判を呼び、多くの屋根職人たちが注文を受けました。泊り込みで作業しても追い

つせず、家族のほか近所の人にも手伝ってもらったこともありました。

しかし、時代は変わり、住宅の構造変化や増える外材などの事情により、コアを敷く家屋が減少。昔は県内でも多くの職人がいましたが、高齢化や採算が合わなくなつたため職人は姿を消し、今では県内でも庸一さんだけになりました。

最盛期は1日に2400枚（10束）も作っていました。が、今では3分の1程度に。一度に大量の枚数を作ることはできないので、急な注文にも答えられるようにと、作り置きしておくほどになってしまいました。

庸一さんは46歳の時に、勤めていた建設業社から転職。15歳から製材所に勤めていた経験があったことから自信があり、この道を選びました。作り始めるころは、安来の職人に「こんなもんはコアじゃない」と言われ、ショックを受けた。

その後、木を削る刃の角度など技を見て覚え、他の職人のコアと見比べながら品質向上を目指したり、生産速度を上げるため、機械（コア落し）の回転数を上げるなどの工夫もしました。今では、手に伝わる振動や微妙な体重のかけかたで削る厚さが分かるほど。長年の経験が体に染みついていきます。

庸一さんは、コア作り32年間を振り返り「苦労ばかりでも残っていないが、いい人たちに恵まれたことが財産になった」と言い、作業を手伝う妻の皓子さんは「機械を維持する経費を考えると厳しく、いつも辞めようかと思う」と厳しい現実を目を向けます。

それでも庸一さんは「職人がいなくなりさびしいが、体が続く限り続けたい。作業小屋に行くとき気がいい。それに、小屋に来るお客さんとの話も楽しみ」と目を輝かせていました。

写真左 庸一さんが作る檜のコア。厚さは1.95ミリと薄いですが、腰があるのが特徴

忘れない あの大地震

平成12年10月6日、午後1時30分ごろに発生した鳥取県西部地震。日野町は震度6強を記録、町内全戸が被災するなど大きな被害に遭いました。まちでは、地震が発生した日を「日野町防災の日」と位置づけ、全住民を対象にした防災訓練を毎年行っています。今年も、より多くの人に防災意識を高めてもらいたいと、10月3日（日）に全町一斉防災訓練を行いました。

訓練当日は、全住民約2千人が避難訓練に参加。訓練後には各地区で各種防火訓練などが行われました。



防災訓練

地震の教訓をまちづくりに生かす

多くの住民が訓練に参加
防災意識を高める

防災訓練は、午前9時、鳥取県西部を震源とする地震が発生。日野町では震度6強を記録したという想定で行いました。

災害発生を告げるサイレン、状況を知らせる防災無線の合図で開始。内容は、各自治会ごとに決められている仮避難所に避難する初動体制の訓練。参加した住民約2千人は、自宅から安全な避難経路を確かめながら避難し、責任者に安否を報告しました。

まちも、訓練地震発生後、直ちに対策本部を設置。住民の安否確認や被害状況の情報収集、関係機関との体制の確認など災害時にすばやく対応できるように組織の充実を図りました。

訓練に参加した人たちは、地震から月日が流れ、防災への意識がおろそかになる。こうして訓練に参加することで、気を引き締めて取り組んでいかなければならないという気持ちになる」と話していました。



避難人員を各地区の責任者に報告（黒坂5区自治会）

**役割分担や連絡体制も明確に
充実する黒坂自主防災委員会**

地震災害が大きかった黒坂地区では、2年前に黒坂地区連合区内17自治会で結成した黒坂地区自主防災委員会（福田和也会長）が、被害を想定して訓練を行い、361世帯の619人が参加しました。

防災本部は町公民館駐車場に設置され、消火、避難・誘導、情報、救出



消火器の安全栓を抜き、火元にホースを向け、すばやく消す（黒坂4区自治会の訓練）

救護、給食給水の各班長と状況を把握し班長に指示を出す防災長などが待機しました。

各自治会では、避難した住民を地区の防災責任者がすばやく確認。ライフラインが寸断されたという想定のもとでの訓練のため、走ったり自転車などを使って本部に報告。集められた情報は、一覧表に表示されるなど明確に整理されました。

訓練後、各班長などが集まり反省会が開かれ「年々良くなってきている」と組織結成3年目の充実を実感。それでも、自治会単位の意識の差を感じた「世帯名簿など共通なものにする必要がある」と、さらなる充実を目指すことで反省点をあげていました。

同防災委員会の福田和也会長はこれまでの訓練経験が生かされ、役割分担や連絡体制も明確にできた」と訓練を評価。また、今後の課題は「地域の防災リーダーを育成していくことが急務」と訓練を振り返りました。

放水・消火・救急など 各地区で地域の防災力を高める

全町一斉訓練後には、町消防団員が現地指導しながら消火栓を使った放水訓練、非常食を使った炊き出し、人工呼吸などの救急講習などが、町内各地区で積極的に行われました。

黒坂4区自治会は、黒坂保育所の

広場で消火器を使つての消火訓練が行われました。

訓練には子どもから高齢者まで約20人が参加。各自交代しながら用意された消火器を使い、実際に燃え上がる炎を消す訓練を体験しました。

参加者は、消火器の安全栓の外し方、レバーを握る力の加減、噴出する圧力など自分自身で体験しながら一連の動作を確認しました。

同自治会長の小藤忠志さんは、実際火災現場に居合わせたらパニックになり何もできない。消火器の使い方を知っていても実際に使った人はそういないと思います。訓練に参加して体験することによって身につくと思います。今回の訓練は、個人、地域のために、いい機会になったのでは」と話していました。



いざというときに備え救急訓練を行う（根雨4区自治会）

4年前、大地震M7.3が襲う

大きな被害をもたらした鳥取県西部地震。全町民が助け合い、一丸となって復興を目指しました。

写真で震災当時を振り返ります。

倒壊する家屋。黒坂、下榎地区は特に被害が大きかった



水道施設にも被害が出る

臨時開設のガレキ置場



避難所は最大時で10か所（約800人）

家の中はタンスなどが倒れ無残な姿に



日本一小さな「蔵」美術館（上菅） 地震記録写真展を開く 震災体験を忘れない

鳥取県西部地震から4年が過ぎ、震災体験を忘れないでほしいと、10月1日から6日まで、日本一小さな「蔵」美術館（上菅）で、鳥取県西部地震4周年企画写真展「あの日…。明日へ…」が開かれました。

日野ボランティア・ネットワークが、写真展を通して、地震発生当時を振り返ってもらい、今後の防災体制など

日々の暮らしを見つめ直すきっかけにしてほしいと企画。被害家屋や避難所の様子、復興支援やボランティア活動など震災当時から復興までのまじの姿を撮影した写真など約160点が展示されました。

会場を訪れた、住田静枝さん、小林しま子さん、柴田栄子さん（ともに上菅）の3人は「写真や全国各地から送られてきた激励の手紙を見ると、当時を思い出して涙が出そうになった。4年が過ぎ、薄れつつある記憶をいつまでも持ち続けていかないといけないと思い、よいきっかけになりました」と話していました。

会場の「蔵」美術館（小谷博徳さん所有、上菅）は今年の春に開館。江戸時代後期の蔵を地域の文化振興に活用しようとして改装したもの。白壁の一部が崩れ、震災当時のつめ跡が今でも残っています。



震災時の写真や資料を見て、4年前を思い出す来館者たち



落下した岩が国道180号をふさぐ。そのほか、数か所で岩や土砂が流れた



下黒坂の道路は2m以上の段差ができる



町内全戸が被害に遭う。全壊は129戸、半壊441戸、一部損壊945戸



震災直後から自衛隊による炊き出しなどの支援が始まる



解体家屋のガレキ分別をするボランティア。全国各地から多くの人が集まった



「蔵」美術館の隣りにある小谷博徳さん宅の縁側で雑談会
右から飛田さん、小谷さん、佐々木さん、井上さん、山下さん

写真展を終えて一。

今回、震災写真展を企画した日野ボランティアネットワークの山下さん、蔵美術館長の小谷さん。そして、展示を手伝った若者3人。県西部地震の写真や資料の整理は、4年前の記憶をよみがえらせた。今回の写真展に携わった5人に当時や今の気持ちを聞いてみました。

- 小谷 博徳さん（上菅） 震災体験を風化させてはいけません。写真展を機に今一度思い出してほしいです。
- 山下 弘彦さん（根雨） 当時の鮮明な記憶は薄れつつあると思います。常に防災意識を大切にしてほしいと思います。
- 飛田 学さん（黒坂） 両隣りの被害写真を見つけ、仮設住宅生活など忘れかけていた記憶を思い出しました。
- 佐々木勇紀さん（舟場） 震災当時、不安で眠れなかったことやがけが崩れ落ちる瞬間を思い出しました。
- 井上 智弘さん（米子市） 報道で被害は知っていましたが、実際の被害写真を見て、そのすごさにおどろきました。



私にできること

応急処置

協力 江府消防署

1分1秒が大切

119番通報は、携帯電話からでもできますが、一般電話や公衆電話から通報すると、どこからかかってきたのか、すぐに分かるようになっており、場所の特定がすばやくできます。

また、最寄の消防署に直接かけるよりも119番通報の方が早く対応できます。119番通報の時点で最寄の消防署に連絡され、救急車は現場に急行していますので、あわてず係員の質問にははっきりと答えてください。

応急処置が生死を分ける命を救う第一歩

もし、身の回りの人が、突然に目の前で倒れ、心臓・呼吸停止になってしまったら、どうしますか。いつ、どこ

で、そのような場面に居合わせるか分かりません。

平成15年中の西部消防局管内の救急出動件数は8221件。そのうち、江府消防署管内（江府・生山・溝口）では1122件。全体的に出動件

心肺蘇生法

傷病者の状態によって注意点が異なります。誤った技術の使用は、かえって危険を招く恐れがあります。必ず資格を持った人のもとで正しい知識と技術を体得してください。

呼吸・心臓停止になったとき―。

意識を確認



倒れた人を見かけたら、まず意識があるかどうか、呼びかけると同時に肩を軽くたたいて（刺激）調べます。

助けを求める



意識がなければ、大きな声で周囲に助けを求めます（119番通報や交通整理など協力して行うことが大切です）。

気道を確保



右手の、人差し指と中指をあごの先端部に当て、左手を額に当てます。あごを持ち上げるようにしながら、頭を後ろに反らします。

数は増加傾向にあります。

また、同期間中、西部消防局管内では、心肺停止状態で搬送した患者は218人。そのうち、救急救命士が到着するまでに、何らかの応急手当を受けた人は88人(40.4%)で、1か月後の生存者は8人(9.1%)。応急処置を受けたなかった人の生存率3.8%の3倍にもなります。

人が心肺停止になった場合、脳は約3分から4分間で重大な障害を受けると言われており、心肺停止に対する蘇生法は1分1秒でも早く開始する

必要があります。

西部消防局管内では、119番通報を受けてから、救急車が現場に到着するまで平均7分21秒(地域によって差があります)。救急車が到着するまでの間、その場に居合わせた人が応急手当をすばやくできるかどうかで、その人の生死を左右するといっても過言ではありません。

応急手当は「命を救う第一歩」。正しい知識と技術を持ち、あわてずに適切な対処を行うことができるよう、身につけておくことが大切です。

冷静になり 状況判断すること



江府消防署救急係主幹
黒見弘幸さん

応急手当が必要となる現場は、いつも安全な場所とは限りません。まず冷静になって周囲の状況を確認し、自身の安全を確保してください(2次災害を防ぐ)。応急手当は、知っているのと知らないのとでは、いざというときに大きな差がでます。また、実際に自分でやってみないと感覚がつかめません。皆さん1度は講習を受けておきましょう。

いざ、というときの応急処置、心肺蘇生法などの救命講習を希望する人(団体・地域)は江府消防署へ相談してください。電話 77 2001

心臓マッサージ



循環サインがなければ、傷病者のろつ骨下縁に沿って人差し指が中央の骨に当たるまで移動させ、その人差し指を胸骨上に置き、圧迫位置を決めます。

圧迫位置の確認



人差し指の置かれた胸骨の頭側の部分が圧迫位置です。手のひらのつけ根を置き傷病者の体に対して垂直に両手で圧迫します。

マッサージする



圧迫は3・5から5センチ程度で、速さは1分間に約100回。心臓マッサージ15回に対して人工呼吸が2回の割合。約1分後(4サイクル)に循環サインを確認する。

呼吸を確認



気道を確認したら、胸部や腹部の動きを見ながら耳を傷病者の鼻や口に近づけて呼吸があるかどうか約5秒で確認します(気道確保から呼吸確認まで10秒以内)。

人工呼吸



呼吸していない場合は、気道確保したまま鼻をつまみ、口を大きく開いて傷病者の口を覆い胸が軽く膨らむ程度息を吹き込みます。

空気を送る



空気を送り込むリズムは、成人が5秒に1回、小児・乳児が3秒に1回。2回繰り返した後、循環サイン(呼吸・せき・体動)があるかどうか10秒以内に調べます。

まちの決算

平成15年度日野町歳入歳出の決算が、9月27日に開かれた第7回町議会定例会（9月議会）で認定されました。

一般会計の歳入総額は38億3,072万8,575円、歳出総額は37億159万3,042円。翌年度に繰り越す財源を引いた実質収支は1億2,881万8,533円のプラスになりました。

まちにどのようなお金が入って、どのように使われたのか、一般会計を中心にその内容をお知らせします。

自立性を高め
特色ある地域の実現へ

平成15年度（平成15年4月から平成16年3月）の会計は一般会計と6つの特別会計で構成。自主性や自立性を高め、特色・夢のある地域社会の実現に向け、福祉、医療、人権環境、教育の分野を重点に進めるとともに、江府町との合併協議を重要課題に位置づけ、まちづくりを推進しました。

歳入総額 38億3千万円
歳出総額 37億2百万円

一般会計の決算は、まちに入ってくるお金の歳入総額が38億3,072万8,575円、使ったお金の歳出総額が37億

会計別決算の状況

（単位：千円）

会計名	歳入決算	歳出決算	歳入歳出 差引額	翌年度に 繰越す財源	実質収支	
一般会計	3,830,729	3,701,593	129,136	317	128,819	
特別会計	国民健康保険	383,859	381,855	2,004	0	2,004
	老人保健	795,999	795,999	0	0	0
	介護保険	473,534	460,159	13,375	0	13,375
	簡易水道	209,368	207,894	1,474	0	1,474
	公共下水道事業	302,543	302,543	0	0	0
農業集落排水事業	170,471	170,471	0	0	0	

町税の内訳

町税区分	決算額	収納率
町民税	1億2,641万9,969円	99.89%
固定資産税	2億2,324万2,920円	98.12%
軽自動車税	904万9,800円	99.45%
市町村たばこ税	2,073万3,738円	100%
合計	3億7,944万6,427円	98.84%

159万3,042円で、差し引いた額は1億2,913万5,333円。翌年度（平成16年度）へ繰り越す財源の31万7千円を引いた実質収支は、1

億2,881万8,533円のプラス（黒字）になりました。平成15年度の決算額は、前年度（平成14年度）に比べ、歳入が7億4,938万2,100

5 億 10 億 15 億

平成 15 年度一般会計決算グラフ



歳入

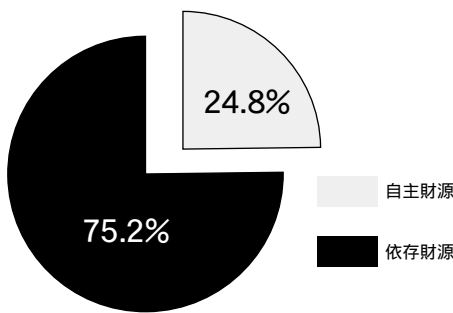
38 億 307 万 285 千 750 円

歳出

37 億 159 万 304 千 200 円



歳入の財源性質割合



5 円、歳出が 6 億 545 万 475 円少ない額になりました。これは、鳥取県西部地震の住宅復興支援などの事業が終了したためです。

国や県に依存する財源
その割合は 75% を占める

一般会計の歳入内訳は、全体に占める割合の大きいものから見ると、まちの行政規模等に応じて国から交付される地方交付税が 17 億 537 万 8 千 500 円（全体の 45.8%）、事業を行うためにまちが計画的に借り入れる町債が 5 億 243 万 9 千 500 円（全体の 13.7%）、町民税や固定資産税等の町税が 3 億 794 万 6 千 427 円（全体の 9.9%）の

順になっています。

財源別に見ると、まちが自主的に収入にできる自主財源（町税、使用料、諸収入等）が 9 億 517 万 925 円、国や県により定められた金額や割り当てられた金額を収入にする依存財源が 28 億 789 万 931 千 700 円で、国や県に依存する財源の割合は 75.2% パーセントと、依然高くなっています。

情報システム整備事業など総務費に 7 億 6 千万

歳出は、情報システム整備選挙、広域行政負担、過疎バス、合併対策、全体的な管理事務などに使われた総務費が 7 億 573 万 531 千 900 円（全体の 20.5%）、町債の返済金の公債費が 6 億 426 万 944 千 299 円（全体の 17.4%）、福祉や介護、保育所運営などに使われた民生費が 5 億 966 万 359 円（全体の 16.1%）、日野病院の経営負担や保健事業に使われた衛生費が 4 億 926 万 151 千 100 円（全体の 13.3%）の順になりました。

貯蓄は5億3千万
借入れは60億7千万

まちの貯蓄ともいえる基金

の決算年度末現在高は5億3
445万2千円になり、前年
度末現在高(平成14年度は5
億8239万6千円)より4
794万4千円減少。まちが
借り入れた資金の返済額の地

方債残高は、前年度末現在高
より3945万8千円減り、
60億7078万5千円となつ
ています。

平成15年度の地方債返済額
(公債費)は6億4269万
4429円で、平成16年度の
公債費の当初予算額が7億3
760万8千円。来年度(平
成17年度)からは、地震災害

【一般会計の主な事業経費】

- ・ 公共施設ネットワーク整備等 = 1億7,101万8,672円(公共施設のIT整備)
- ・ 過疎バス対策 = 1,781万4,952円(路線バスの運行維持経費)
- ・ 合併対策 = 1,682万350円(江府町との合併協議経費)
- ・ 住宅復興支援補助 = 1,800万円(西部地震被災住宅建替の支援)
- ・ 日野病院組合補助 = 2億3,429万8,983円(日野病院交付税措置分等)
- ・ 中山間地域総合整備事業 = 2,612万6,173円(日野川左岸地区の活性化)
- ・ 県営奥日野広域農道整備 = 1,149万1,786円(広域農道の負担金)
- ・ 交流促進施設管理 = 1,425万2,920円(リバーサイドひの管理運営)
- ・ 板井原地区用水施設整備 = 1億1,977万8,718円(水道水の供給施設整備)
- ・ 町道下榎宮ノ前線改良事業 = 2,458万2,397円(道路整備)
- ・ 町道根雨1号線緊急地方道路整備事業 = 3,300万7,087円(道路整備)
- ・ 町道根雨西側支2号線道路改良 = 4,882万4,479円(道路整備)
- ・ 耐震性貯水槽新設事業 = 1,230万6,000円(舟場、津地に2基設置)
- ・ 文化センター管理 = 1,818万4,983円(管理運営)

決算書は、町図書館、黒坂支所で閲覧することができます。

復興関係の返済が始まること
から、予算全体に占める公債
費の割合が大きくなり、厳し
い財政状況になると予想され
ます。

まちでは、厳しい財政状況
を乗り越え、活力に満ちたま
ちづくりを進めるため、町村
合併が白紙に戻り、単独自立
を決めた翌日から「自立政策
推進本部」を設置。今後10年
間の具体的な方針を示す「自
立政策推進大綱」や「まちづ
くり推進プラン」の策定に向
けて取り組んでいます。

一般公募のあった住民委員
10人と役員職員で構成するま
ちづくり推進委員会(総務、
福祉・教育、産業の3部門で
構成)では、最小限の経費で
最大の効果をあげるよう、各
部門に分かれ、一つひとつの
事務事業を見直しています。
12月には、各部門で検討さ
れた事項をまとめ、自立存続
に向けた「まちづくり推進プ
ラン」を策定することになつ
ています。

一般会計とは別に運営して
いる6つの特別会計の決算を
紹介します。

国民健康保険特別会計

歳入総額3億8385万9
314円で、歳出総額が3億
8185万4637円になり
ました。平成15年度の被保険
者数は1501人で、1人当
たりの医療費は年間16万35
57円になりました。総医療
費は前年度より4717万3
448円増えています。

老人保健特別会計

歳入歳出ともに7億959
9万9383円。老人医療受
給者は1118人で、1人当
たりになると年間67万715
8円の医療費がかかっている
計算になります。総医療費は
7億5706万3112円
(総件数2万5132件)で
1件につき約3万円を給付し
ました。総医療費は、前年度
より4169万8546円増
えています。

介護保険特別会計

歳入総額4億7353万3
530円、歳出総額が4億6
015万8460円になりま
した。65歳以上の高齢者は1
583人で223人(40〜64
歳の特定疾病7人含む)が要
介護認定を受けました。在宅
サービス利用者は月平均12

0人。施設サービス利用者は
月平均76人になりました。要
介護認定を受ける人数は年々
増加しています。

簡易水道特別会計

歳入総額2億936万81
25円、歳出総額が2億78
9万3905円になりました。
下榎地区簡易水道の水源改良、
根雨地区と貝原地区の水道施
設を統合するなど、安全で安
定した水道水を供給するため
の施設整備を行いました。

公共下水道特別会計

歳入歳出ともに3億254
万2849円になりました。
下榎地区の供用開始、浄化セ
ンターやマンホールポンプの
維持管理など公共下水道の対
象地区拡張や生活環境の向上
を行いました。

農業集落排水事業特別会計

歳入歳出ともに1億704
7万1078円になりました。
黒坂・下黒坂地区の農業集落
排水処理施設(計205戸加
入)の維持管理、貝原地区の
供用開始に向け施設整備をす
るなど、生活環境の確保と水
質保全に取り組みました。

生活習慣を見直そう



ガン、脳卒中、心臓病などの生活習慣病は、毎日の生活習慣が深くかかわっています。今のあなたの生活が、10年、20年先の健康状態を左右します。いつまでも健やかな人生を送るために、もう一度自分の生活習慣を見直してみよう。

自分の健康は自分で

生活習慣病は、長年の生活態度の積み重ねで起きるものです。そのため、自覚症状が少なく、ジワジワと進行していきます。気づいたときには、手遅れといったケースも少なくありません。

病気を予防するには、健康的な生活習慣を自分で確立することが基本です。食生活、運動、休養、喫煙、飲酒…。あなたの生活習慣は大丈夫ですか。

簡単にできること
歩くことから始めましょう

運動には、健康・体力づくりだけでなく、生活習慣病予防にも大きな効果があります。

特に、酸素をいっぱい取り

込んで体の働きを活性化する有酸素運動を30分以上かけて行うのが効果的です。簡単でだれでもできるのは「歩く」こと。外を歩けば気晴らしにもなり、精神的ストレスを解消するのにも役立ちます。特別な時間を作らなくても、ふだんの生活の中で無理なく続けられます。

健康のことを考え喫煙を

たばこは、ガン、脳卒中、心筋梗塞など、さまざまな病気の危険因子となります。どんなに長くたばこを吸っていた人でも、禁煙を始めればこれからの病気にかかる危険性は減っていきます。

お酒の飲みすぎに注意

お酒は、上手につき合っても飲み過ぎないことが大切です。自分のペースで飲み、適量にとどめるようにしましょう。肝臓やほかの内臓に負担がかかり、さまざまな病気につながっていきます。

元気な老後を過ごすために

老後の不安の一つである寝たきり。寝たきり高齢者の発生の主な原因である脳卒中、骨粗しょう症などの病気は、中壮年期からの健康管理を十分に行うことによって予防できます。そのためには、定期的に健康診査を受けることが大切です。健診結果で、自分の生活習慣を把握し改善していきましょう。

県特定不妊治療費助成金交付事業のお知らせ

体外受精、顕微受精に 要した費用の一部を助成



【対象者】以下のすべてに該当する方とします

法律上の婚姻をしている夫婦であって、夫婦のいずれか一方または両方が県内に1年以上住んでいる方で、特定不妊治療以外の治療法によっては妊娠の見込みがないか、極めて少ないと医師に診断された方
平成16年4月1日以降に治療を開始した方
夫婦の合計所得が650万円以下の方
(児童手当法施行令第3条で計算)

【受付先】

申請書に必要な書類を添付し、居住地を管轄している各総合事務所または福祉保健局に提出してください

【助成金の額】

特定不妊治療に要した経費に対して1年度あたり10万円を限度として、通算2年間助成(ただし、2年間の助成を保証するものではありません)

【問い合わせ先】

県福祉保健部健康対策課健康増進係
(電話 0857-26-7202)

日野総合事務所福祉保健局(電話 72-2036)

ホームページで申請書がダウンロードできます
<http://www.pref.tottori.jp/kenkoutaisaku/>

歓声に沸く まちの運動会

町内の全地区が参加する町民体育祭を、9月26日、根雨地区（根雨小学校）と黒坂地区（黒坂小学校）に分かれて行いました。両会場とも、ボールけり、水入れ競争、綱引き、リレーなどの各種競技で順位を競い合いました。参加者は体力づくりにさわやかな汗を流しました。総合優勝は、根雨地区が7組（野田・舟場・三谷・貝原）、黒坂地区が6軍（上下菅・中上菅・上上菅・井ノ原・諏訪・漆原・潤谷・下福長）でした。



剛

力と力がぶつかり合う綱引き。歯を食いしばりながら全力で綱を引く。かけひきもあるが力が強い方が勝つというシンプルな競技だからおもしろい。（黒坂）



沸

声援に沸く各地区の応援席。白熱する展開、ハッスルする選手の姿にエールを送る。また、思いがけないハプニングに笑い。気持ちがひとつになる。（根雨）



喜

走ったことより、袋の中のお菓子が気になる幼児旗とり。（根雨）



継

リレーはバトンタッチが命。運動会の華「リレー」は注目の最。最終競技は各年代が集う総合リレー。地区の期待を背負い全力で走る姿とめぐるしく変わる順位に応援もボルテージが上がる。（根雨）



着

何着？気になる順位。ゴールした瞬間、決勝係にアピール。（黒坂）



楽

こぼさないよう気をつける「水入れ競争」。だれでも参加できる楽しい競技が増えた運動会。しかし、競技が始まれば真剣勝負。（黒坂）



彩

黒坂地区では開会式前に入場演技が行われる。各地区とも毎回思考を凝らした演技を披露。何日も前から準備をして本番を迎える。（黒坂）





響く美しい歌声

メロディー

中学校に
オペラ歌手がやって来た

オペラ歌手が迫力ある歌劇で魅了する。9月27日、本物の舞台芸術に触れてもらうと、オペラ歌手が日野中学校を訪れました。

この公演（本物の舞台芸術体験事業「文化庁」は、オーケストラやオペラなど本物の舞台芸術に直接触れ、子どもたちに感受性豊かに育つてほしいと行われているもので、日野中学校の願いがかなって実現しました。

この日、中学校を訪れたのは、オペラを中心とした活動を続ける関西二期会（大阪市）のメンバー28人。合唱公演は、同校体育館で行われました。始めに、生徒が練習を積み重ねてきた課題曲「流れゆく雲を見つめて」「時の旅人」を披露。その後、関西二期会と生徒がいつしよに課題曲や同校歌を合唱しました。

後半は、関西二期会が故郷や村祭など「ふるさとの四季」と題して歌唱メドレー、歌劇「カルメン」より乾杯の歌などを披露。甘い歌声や歌劇の



インタビュー 公演を終えて

関西二期会 ソプラノ

福永修子さん

音楽は世界共通のすばらしいものです。自分の心を表現するという力を感じてほしいです。生徒の皆さんといつしよに歌うことができうれしかったです。



関西二期会 バリトン

大谷圭介さん

レベルの高い課題曲でしたが、真剣に取り組む姿がうれしかったです。音楽は感動を与え、心を豊かにしてくれます。そのすばらしさを忘れないでください。





中学生がオペラ歌手と共演



日野中学校2年 田辺恵太さん
オペラ歌手の声に感動。体育館がコンサート会場のように感じました。声を出して歌うことはとても気持ちがいいです。

迫力で、生徒や来場した一般客に感動を与えました。公演後、生徒たちは「オペラを生で聞き、美しい歌声と迫力に感動しました」などと話していました。

今年の7月、関西二期会の6人が来校し、歌唱指導やミニコンサートを行いました。3か月ぶりに生徒の歌声を聞き、「二つの課題曲は難しい曲ですが、声もよく出ていました。指導したこともきちんとできていました」と、生徒の成長ぶりをほめていました。

関西二期会は西日本最大の声楽家集団で、オペラ公演をはじめ多彩な活動をしています。この学校公演では、全国各地の小学校から高校を訪れています。



日野中学校2年 安達未来さん
今回「歌詞の意味を考えて歌う」ということなどたくさん教わりました。オペラ歌手が歌う校歌は、迫力がありました。



日野中学校2年 稲田和正さん
みんなで歌うということは、クラスがまとまるきっかけの一つになると思います。オペラ歌手の声はとても響いていました。



日野中学校2年 砂原諒子さん
今日は、全体的に声のでていたと思います。みんなで歌うことは楽しい、学校全体も明るく楽しくなっています。

夜の体育館に歓声が響く

第13回日野町バレーボール大会夜間リーグが、9月27日、日野中学校体育館で開幕しました。

今年は、町内事業所や同好会など10チームが参加しました。開会式では、参加チームを代表して、林業倶楽部の小谷順万さん（津地）が「最後まで優勝



力強く宣誓する小谷さん

目指してがんばるとともに、選手相互の親睦を深めることを誓います」と力強く宣誓しました。



ネット上での攻防「スパイクにブロック」開幕戦から好試合が続く

その後、さっそく第1試合が行われました。1球1球に歓声が沸き、白熱したプレーが続出した。参加者は、ハツスルしながらも心地よい汗を流していました。夜間リーグは、月曜日の夜に同体育館で行われ、11月8日から順位を決定するトーナメントがあり、11月17日に閉幕する予定になっています。

町内芸術家、県展に入選

第48回鳥取県美術展覧会（以下県展）に町内から8人の作品が入選（審査員含む）。現在、県内で開催中の県展で展示されています。日南町美術館では、9月25日から10月11日まで県展日南選抜展が開かれ、各部門の受賞作品や郡内在住の一般作家の作品計90点が展示されました。入選者紹介

日本画〓 頭本俊子さん 洋画〓 梅林茂さん、松田鮎美さん 写真〓 生田英明さん（審査員）、松本利秋さん、長谷川利子さん、飯田頼昭さん、牧田教介さん



作品を鑑賞する来場者（日南美術館）

稲刈り体験で収穫の喜びを実感

日野高校1年生が稲刈り



初めての稲刈りに笑顔の日野高校生徒たち

秋の収穫シーズンを迎え10月7日、日野高校の生徒たちが同校黒坂校舎農場水田（8アール）で稲刈りを体験しました。同校1年生全員は、着替えた体操服を泥だらけにしながらも、自分たちが春に植えたコシヒカリの稲を1株1株ていねいに手で刈り取っていました。

秋空の下、生徒たちの明るい笑い声が響いていました。

郷土芸能を生中継で楽しむ

鳥取情報ハイウェイを使って視聴



町文化センター内にあるモニターで生中継

鳥取県が整備する超高速情報ネットワーク「鳥取情報ハイウェイ」を实感してもらおうと10月10日、町文化センターで、同日、倉吉市で開かれた「県青少年郷土芸能の祭典」が生中継されました。

会場となった町文化センターでは、光ファイバーで伝送された高精細な映像がモニターに映し出され、訪れた人々は日野高校郷土芸能部の荒神神楽など創造的な舞台を楽しみました。

人権の輪を広げよう

第27回解放文化祭

「暮らしの中に人権の輪を広げよう」をテーマに、差別のない明るいまちを目指そうと、10月2日から4日までの



「正しい人間観、価値観を広めていこう」と清原さん

10月2日には、町文化センターで講演会や踊り、歌、傘踊りなどの芸能発表があり、多くの人が訪れました。

講演には、奈良県

御所市同和教育実践会事務局の清原隆宣さんを迎え「人の世に熱と光を」と題して話しを聞きました。

清原さんは、自身の体験やこれまでの実践活動を振り返りながら「どれだけ取り組んでも差別はな

くならない。いまだに間違ったものさし（見方）があり、差別を生んでいる」と身元調査、結婚問題、就職差別、落書事件など各地で相次ぐ差別事件の実態を説明しました。

大安や仏滅など六曜の意味にも触れ「昔から言われているから。歴史性、社会性によってウソが本当になっっている。世間体のこだわりを捨て、自分で判断することが大切。世の中に流されてはいけない。水平社宣言の思想につ

白球を追いコート走る



各大会とも白熱した試合が続く

ソフトテニス大会結果（優勝組のみ掲載）

【日野町杯ソフトテニス大会】

9月20日 野田・日野中テニスコート

小学生Aクラス〃西村・矢田貝組（黒坂小）

小学生Bクラス〃稲田・後藤組（黒坂小）

中学生〃稲田・伊田組

一般Aクラス〃岡・生田組

一般Bクラス〃三上・谷口組

【第1回D〃スポーツ杯ソフトテニス大会】

10月11日 野田テニスコート・日野中体育館

小学生Aクラス〃継岩・石田組（根雨小）

小学生Bクラス〃木村・坂本組（黒坂小）

中学生〃稲田・伊田組

一般Aクラス〃長谷部・大岩組

一般Bクラス〃吉原・坂本組

いても「水平社の運動は、長い間、差別されてきた復しゅうの運動ではなく、間違ったものさしを変えていこうとするもの」と、世の中がどんなに変わっても、人の値打ちは変わらない。人にはそれぞれ個性があり、そのことを認め合いながら、自分らしく生きていけるような地域にしよう、と、呼びかけました。

最後に「その場で分かっているだけでも、生活の場を生かさなければならぬ」「解放運動は、差別されている人のために何かしようとするものではなく、こだわりを持った自分を解き放つことが解放運動の意味であると思う」と講演を締めくくりました。

10月3日、4日には、下榎集会所などを会場に、保育所園児から高校生の作品、生け花や編み物など学習講座に参加する人たちの作品が展示されたり、「狭山事件」を取り上げたビデオ鑑賞会や座談会などが行われました。



町内芸術家の作品が並ぶ

第2回日野町趣味の会合同展示会

日野町内で活動するグループが合同で作品を展示する「日野町趣味の会合同展示会」が、9月11日から20日まで米子郵便局内の展示ホール（米子市）で開かれました。展示会には、石こけし、ちぎり絵、写真、俳句、書道、墨彩会など日野町内11団体による作品90点が展示されました。期間中、会場には多くの人が訪れ、力作を鑑賞していました。



まちの話題

あなたの声や地域、職場での話題をお寄せください。
役場企画振興課まで（電話72-0332）

テープを貼ったら痛みが和らいだ

大好評のテーピング教室

腰痛や肩こり、ケガを防止しようとして9月10日、テーピング教室が、山村開発センターで開かれました。

日本体育協会公認のスポーツプログラマー、上杉秀樹さん（境港市）を講師に迎えキネシオテープの活用方法を学びました。

キネシオテープは伸縮性が優れ、痛みのある場所に張ることによって血液の流れがよくなり、新陳代謝が活発になります。そのこ

とで、人が本来持っている自然治癒力を促進させ、筋肉の痛みや凝りを和らげ、早期回復やケガ防止に効果を発揮します。

上杉さんは「だれでも長い間、運動を続けていると筋肉や関節に故障や痛みが出てくるもの、キネシオテープは、科学的にも

実証され、多くの人が効果を実感しています」と説明しました。参加者は、キネシオテープの

効果や特徴、使い方を学び、実際に貼ってその効果を体験しました。

実際に貼ってみて「テープを張ったら体の張りがとれて楽になった。知人にも教えてあげたい」とその効果を肌で感じていました。

教室には、スポーツマンから高齢者まで47人が参加するなど大好評でした。

どんぐりのように仲間を増やしたい

知的障害者グループホームが開所

知的障害を持つ人たちが自立して生活するグループホーム「どんぐりハウス」が10月7日、根雨地区に開所され、わかつり作業所に通う利用者4人の新しい生活がスタートしました。

知的障害者のグループホームは郡内初。利用者の「自立したい」という要望を受け、社会福祉法人祥和会が開設しました。

グループホームで生活する佐伯明徳さんは「待望のグループホームが開所でき、うれしい」と開所式であいさつしました。



開所式で、新生活に期待を膨らませる利用者たち

認識を深める学園生たち



広い視野を持つことが大切
人権について学ぶ「おしどり学園」

おしどり学園が、9月17日、町公民館で開かれました。
今回の一般教養講座は、日南ふれあい会館指導員の福田チヨ子さんを迎え、人権・同和教育について学びました。
福田さんは「固定観念にとらわれず、視野を広げ、新しいものを自分に取り入れようとする気持ちは持ちましょう。しなやかな思考が大切です」と話していました。



ドライバーや同乗者に交通安全を呼びかける

カーブがきつい峠道ゆっくり走ろう

明地峠に交通安全県境テント村を開設

交通事故を防止しようと、秋の全国交通安全運動期間中の9月23

日、交通安全県境テント村が、明地展望駐車場に開設されました。
鳥取・岡山県の交通安全関係者約50人が参加し、岡山方面に向う車両に安全運転を呼びかけました。
参加した交通安全母の会や交通安全協会などの会員たちは「交通ルールを守り、安全運転を」とチラシなどを手渡していました。
テント村は、カーブのきつい峠道が鳥取県と岡山県の県境をまたいでいることから、鳥取県交通安全協会黒坂地区と新見市交通安全協会千屋支部が協力し合っているもので今回で30回目。毎年、春に岡山側、秋に鳥取県側で交互に開設しています。



広場の草取りに汗を流す根雨6区寿老会のメンバーたち



防犯ステッカーを車に貼りつける郵便局職員

悪質な犯罪から地域を守る

黒坂警察署管内の金融機関が防犯パトロール

黒坂警察署管内防犯協議会（日野・日南町の17金融機関）は、9月15日、防犯パトロールを結成し、黒坂郵便局前で出発式を行いました。
同協議会は、高齢者を狙ったオレオレ詐欺や悪質商法などの被害から地域の人々を守ろうと、毎月5のつく日に業務車両に「防犯パトロール実施中」のステッカーを貼り、防犯意識を啓発していきます。また、日々の業務でもチラシを配布したり、声をかけたりして犯罪追放を呼びかけていきます。

清掃活動に汗を流す

全町一斉クリーン作戦

ゴミのないきれいなまちを目指そうと、9月19日、全町一斉クリーン作戦が行われました。

各自自治会では、早朝から多くの人が参加し、地区内の河川、道路等の清掃やゴミ拾いに汗を流しました。

この日、根雨6区寿老会（西村行認代表）のメンバー27人は、地区清掃後、同地区内にある東山公園の広場や遊歩道の清掃を行いました。

草を一つひとついねいに抜き取り、「やっぱりきれいになると気持ちがいい」と汗をぬぐいながら話していました。

福祉専門員奨学生募集

まちでは、平成17年度の福祉専門員奨学生を募集します。

【募集期間】

12月から平成17年1月まで

【貸付の対象者】

日野町在住者または出身者で、高校卒業程度の学力を有し、福祉専門員の資格を取得しようとする方

【福祉専門員の範囲】

介護福祉士、保健師、看護師、保育士、栄養士、管理栄養士、社会福祉士、そのほか町長が必要と認める専門員

【貸付内容】

貸付額 月額10万円

貸付利率 無利子

貸付期間 最高4年間

返済期間 貸付終了後12年

貸付人員 年間2人程度

資格取得後、返済期間内に町内の事業所に継続して6年以上勤務したとき、7年目以降の返済を免除します。

【奨学生の決定】

筆記および口述試験を行い決定します

【問い合わせ先・受付先】

役場健康福祉課

(電話) 72 0334

年末調整説明会

平成16年分給与所得者の年末調整説明会を開きます。

【日時】

11月15日(月)
午後1時30分～3時30分

【場所】

江府町山村開発センター

【対象者】

日野町に所在する源泉徴収義務者(官公庁・個人の青色申告事業者を含む)

農業情報処理講座

11月5日～12月3日

鳥取大学農学部公開講座「コンピュータによる農業情報処理講座」が11月5日から

12月3日までの毎週金曜日(計5日間)、大栄町農業情報センターで開かれます。

対象は、農業指導機関職員および農業従事者です。

人数に限りがありますので、早めに申し込みください。

【問い合わせ先・申し込み先】

役場農林課 中田

(電話) 72 2102

労働保険の加入手続きは済んでいますか

10月は労働保険適用促進月間です。労働保険(労災保険・雇用保険)は、労働者を1人でも雇用していれば、加入することが法律で義務付けられています。まだ、加入手続きをしていない事業主の方は、すぐに手続きをしましょう。

詳しくは、鳥取労働局または米子公共職業安定所根雨出張所に問い合わせてください。

2005年 農林業センサス

調査日 2月1日

統計調査にご協力を

2月1日現在で、全国一斉に2005年農林業センサスが実施されます。1月中旬ごろから、農林業を営んでいる皆さんのところに統計調査員が伺います。調査票への記入など、ご協力をお願いします。



マスコットキャラクター「つっちー」

10月は臓器移植普及推進月間です。臓器移植にご理解ください。

問い合わせ先
 (社)日本臓器移植ネットワーク
 電話 0120 22 0149

臓器提供意思表示カード

郡内の朝市や観光地を訪ねるスタンプラリー

日野郡内の朝市や自然、歴史、文化などの魅力を知ってもらおうと、「日野郡いきいき朝市スタンプラリー」が行われています。

【応募方法】

応募用紙に、異なる6か所(朝市7か所、日野郡内の観光地8か所)の特製スタンプ

を押して応募してください。(1回目の応募については、3か所以上は朝市のスタンプを押してください)

【スタンプ設置場所】

アメダス茶屋サンデー、阿毘緑もみの木市、印賀ふれあい市、ゆきんこ村四季彩、ふるさと日南邑、ホームランド多里(以上日南町)、こここ市、長楽寺、出雲街道根雨宿一番館(以上日野町)

きらりこの人



ながはら いさむ

中原 勇さん(66歳・根雨)

中原勇さん(根雨)が発案した「ムジコ超無事故かえる」。カエルの家族が交通安全を呼びかけるというロゴとキャラクターが6月25日、特許庁から商標登録されました。

クリーニング店を営む中原さんは、配達業務中に見る信号無視、店が踏切近くにあることから踏切前で一旦停止しない車など交通ルールを守らないドライバーをよく見かけ「何とかならないものか」と、日ごろから気になっていました。

以前から発明に興味があり、本で特許取得などについて学んでいたため、商標登録を考案。「無事故」まではすぐに思いつきましたが、その後の言葉がうまくつながらない。しかし、ある日、ふと「カエルと帰る」というごろを思いつき、印刷業者にキャラクターなどのデザインを依頼して完成しました。

今年の9月には、友人が交通事故で亡くなるという悲しいこともあり、交通安全への意識がさらに高まったと話します。

中原さんは、「広くアピールすることで交通事故がなくなればと思う。」「まちの交通安全広報などにも積極的に活用してほしい」と話しています。

「無事故かえる」商法登録で交通安全を呼びかける

総務課
主幹 〓 塔川和之(企画振興課自立政策推進室主幹)
企画振興課自立政策推進室
主幹 〓 入江康之(日野病院組合 派遣受入 10月15日付)
住民ふれあい課
主幹 〓 音田 守(地域整備課主幹)
主事 〓 頭本敏仁(農林課主事)
農林課
参事 〓 山本照夫(住民ふれあい課参事)
派遣
日野病院組合
事務局次長 〓 生田哲一(総務課主幹)

町職員人事異動

10月1日付で町職員の人事異動を行いました。(カッコ)は旧任。職名のみ異動は除く。

みちくさ、ふれあい市、エ
バーランド奥大山、休暇村大
山鏡ヶ成(以上江府町)、みぞ
くち朝市、榎水フィールドス
テーション(以上溝口町)。
【応募締め切り】
第1回 11月10日(水)まで
第2回 12月20日(月)まで
ともに当日消印有効
【賞品】
第1回 〓 各朝市より新鮮野菜
や加工品など7本
第2回 〓 観光施設より特産品
や宿泊券など9本
【問い合わせ先】郡広域観光
推進協議会(日野総合事務所
県民局内)
(電話72 2083)

悪質犯罪に注意
ひとりでも悩まず相談を
最近、家族などの名をかた
るオレオレ詐欺や有料サイト
などの架空請求などの被害者
が急増しています。また、高
齢者を狙った悪質な犯罪も後
を絶ちません。

商品登録されたロゴとキャラクター



一人で悩まず、きちんと主
張していきましよう。
【連絡先】県立消費生活セン
ター 西部消費生活相談室(米
子市末広町)、(電話085
9 34 2668・34 26
48)または、黒坂警察署(電
話74 0110)

文化センター だより

図書館・ホール森の音楽隊

TEL 72-1300 FAX 72-1320

E-mail hinolib@infosakyu.ne.jp

月～金 午前9時30分～午後6時
土・日 午前9時～午後5時

カレンダー 11月

○印が休館日です

日	月	火	水	木	金	土
	1	②	③	4	5	6
7	8	⑨	10	11	12	13
14	15	⑬	17	18	19	20
21	22	⑳	㉑	25	26	27
28	㉙	㉚				

展示コーナー

谷口祐子さん(本郷) 二人展
上田敬子さん(米子市)



11月5日(金)
28日(日)

めざせ、おもちゃチャンピオン

一昨年の国民文化祭のときから始めた「めざせ、おもちゃチャンピオン」をパートとして開きます。

優秀作品には賞がありますので、ふるって参加ください。

とき 11月28日(日)
午前9時～正午

対象 小学生以上
定員 30人(先着順)
参加料 300円
持参品 鉛筆、定規、消ゴム
コンパス
申込期限 11月20日(土)
申込先 町図書館、町公民館



オリジナルおもちゃを作ろう(昨年)

おもちゃづくりは、講師に若林孝典さん(工房「童」主宰)を招き、設計図の作製から実際のおもちゃづくりまで楽しむことができます。最後に作品の出来栄を競う「めざせ、おもちゃチャンピオン」にも挑戦できます。

文化センターのイベント



ジャー・パンファン

こきょう
胡弓演奏会
テレビにも出演の中国の賈鵬芳(ジャー・パンファン)さんによる胡弓演奏会を開きます。

とき 11月19日(金)
開演 午後6時～(開場 午後5時30分)
ところ 町文化センター(ホール森の音楽隊)
チケット 一般2,000円 高校生以下1,000円
販売 町文化センター、町公民館

11 / 13(土) ピース・ジャズ・アンサンブル定期公演

やってみませんか? 地球にやさしい買い物

マイバッグ(買い物袋)を持参して、レジ袋などを断る。

野菜や果物などはバラ売りや盛ったものを選び、トレーにのったものを避ける。

洗剤やシャンプーなどは、詰め替え用を利用する。

トイレットペーパーやティッシュペーパーは再生紙利用のものを選び、使い過ぎないようにする。

家電製品などは、なるべく電気を必要としない「省エネタイプ」を選ぶ(環境にやさしいだけでなく、電気代も安くなる)。

近くに買い物に行くときは、なるべく自家用車は使わない。



地球にいいことはじめよう
めざそう循環型社会

連載 17



ちょっとした行動の積み重ね 買い物はマイバッグで

自分だけが環境のことを考えても、どうせ何も変わらない。と、思っている人いませんか? 一人ひとりが環境のことを考え、買い物をするようになれば、社会もきつと変わります。

例えば、あなたが包装をなるべく省いた商品を選び、レジ袋を断ってマイバッグを利用すると、家族全員で1年間で1世帯当たり約58kgの二酸化炭素の削減効果になると考えられています。自信を持って、マイバッグを持ち歩き「レジ袋は、いりません」と言ってみませんか。



金賞を受賞し、喜びいっぱいの日野中学校吹奏楽部の部員たち

日野中学校 吹奏楽部

江府中との編成チームで

金賞受賞

山口県で開かれた第45回全日本吹奏楽コンクール中国大会（8月29日）で、日野中学校吹奏楽部と江府中学校吹奏楽部の合同編成チームが、中学小編成の部門で金賞を受賞しました。

日野中と江府中の吹奏楽部は、部員数が少なくなったことなどから合同チームを編成。県大会で代表の座を獲得し、中国大会に出場しました。

演奏曲は、歌劇「カヴァレリア」の「ティカーナファンタジー」。各県の代表がそろう中、部門最優秀賞にあたる金賞を受賞しました。

日野中学校の生徒たちは、夏休みの期間中、毎日、江府中に出かけるなど練習を積み重ねてきました。その努力の結果が、今回の受賞に結びつきました。

部員紹介 敬称略

【3年生】

荒木千穂 フルート
内藤麻衣 ホルン
長尾佑加 クラリネット
西村亮佑 パーカッション

【2年生】

安達愛佳 サックス
梅林佳穂 パーカッション
継岩悠里 トロンボーン
廣瀬 光 テューバ
細田 恵 トランペット

【1年生】

佐野友香 クラリネット
中原沙也加 サックス
松田奈津美 クラリネット
渡辺亜純 パーカッション



部活動に励む部員たち
美しい音色が音楽室に響く



紅茶で煮込むのがポイント



豚肉の紅茶煮

エネルギー 420kcal タンパク質 25.9g
脂質 26.2g カルシウム 51mg 塩分 2.2g

【材料】4人分

豚肉ロース肉(塊 500g) 紅茶(アップルティーパック 2袋)
味ぼん(2分の1カップ) 玉ネギ(200g) パプリカ黄(2分1個)
レタス(2分の1個) カイワレ菜(1パック) プチトマト(8個)
カボチャ(150g)

【作り方】

カップ5の湯を沸かし紅茶を入れ、少し色づいたら肉を入れる。アクを取りながら串がすっと通るぐらいになるまで約1時間煮る。

味ぼんを煮立て火を止め、の煮た肉を30分漬ける。

タマネギは薄切りにして水にさらしてから水気を切る。パプリカも薄く切る。レタスは食べやすい大きさにちぎり、カイワレ菜は根を切る。カボチャは8ミリ幅に長く切って蒸す。または、から揚げにする。

大皿にタマネギ、カボチャを敷き、薄切りにした肉を中央に盛り、パプリカ等の野菜を飾る。



「いつまでも君を離さないぞ、いいだろ」
撮影 = 松本利秋さん(秋縄)

オシドリ にゅす VOL.80

案内人 よろしくね

観察小屋にみえたお客さんが「このまちは、とってもきれいだ。花がいっぱい」とよく言われます。人々を温かく迎え、和ませてくれるまちと言ってもいいでしょう。うれしいですね。

いよいよシーズン到来。観察小屋までの道を聞かれることが多くなります。どうぞ親切に教えてあげてください。あなたも立派なおシドリ案内人です。

【お願い】クズ米、古米などありませんから分けてください。

【連絡先】オシドリグループ
事務局 森田(電話72 0271)

オシドリにゅす おかげさまで80回!

9月30日現在

わたしのまち

(前月比)

人口 4,409人(+3)
男性 2,076人(+1)
女性 2,333人(+2)
世帯 1,567戸(±0)

届出 9月12日、10月12日 敬称略

赤ちゃん誕生

おめでとーございます

(出生児) (保護者)(性別)(住所)
9月
影山 拓飛 尊彦・昌子 男の子 三谷
長谷川 綾 貴彦・愛 男の子 福長

おくやみ

ご冥福をお祈りします

(氏名) (年齢) (住所)
9月
田中 強 76歳 黒坂
中原としこ 88歳 下榎
10月
松原ますよ 92歳 津地
田中 晃 76歳 舟場
遠藤 いよ 91歳 榎市

編集後記

今月号で紹介した消えゆく職人、ま生きていたかも知れない。まちの歴史、人の功績を次代に継ぐ責任を広報担当者は担っていると感じました。だからこそ、カメラのファインダー越しに写る姿を追い続けていきたいと思えました。取材に出かけた日は久しぶりの晴れ。気持ちも晴れ。すがすがしかった。(音田)



素朴で可憐^{かれん}

玉石から生まれる芸術 石こけし

瀬田敏雄さん（安原）

二つの重なり合う玉石に、お化粧して着物を描く。作り手の愛情が吹き込まれたその表情は、素朴でかわいらしく、頭の位置で色々な表情を見せてくれます。

石こけしは、故・樋口円石（喜助）さんが約40年前に考案。病に倒れ日野町で静養中、日野川の河原にちらばる玉石が偶然に重なり合う姿を見て想像をふくらませた。現在、小川美石（宇佐美）さん（溝口町）が、その技術を受け継いでおられます。石こけしを後世に残そうと3年前に「石こけし保存会」を結成。小川さん指導のもと保存会のメンバーは、伝統の重さやすばらしさを感じながら、石こけし作りに取り組んでいます。

私が始めたきっかけは好奇心。作れば作るほどその難しさが筆先から伝わり、奥の深さを感じます。しかし、描けば描くほど魅せられる。

このまちに伝わる手作りの民芸品「石こけし」。これからもこのすばらしい芸術を広く伝えていきたいと思えます。



瀬田敏雄作 石こけし